

立春を迎え、朝日が徐々に明るさを増してきました。

如何お過ごしでしょうか。

春めく広瀬川の親子ハクチョウは、間もなくシベリヤの故郷へ帰っていく飛行準備に日の出を待って鳴き声を交わしながら盛んに周囲を飛び回っています。

たまたま下記初歩きの懇親会で、現在32羽のハクチョウはどこを埒(ねぐら)としているかについて、話題になりました。その時、ひとりの会員が、宗禅寺下の河川敷を夜間集団で埒にしていると語り、以前からの懸案が解明しました。確かに夜間の照明が無く人も来ず、ハクチョウには外敵が少ない安全な場所のようです。まさに仙台の中心にある癒しの広瀬川、鳥も魚も人間も。自然環境保全のため、そっと見守ってやりたいですね。



(広瀬橋上流 1/29)



< 報 告 >

1/12 (土) 広瀬橋集合 初歩き「六郷堀と沖野館跡」探索会 新年会

2/01 (金) メディアテーク7階スタジオシアター

フォーラム「広瀬川の魅力づくりと市民運動」(下記詳細)

< 予 定 > (2月～4月) (※) 2月の清掃はお休みです

3/09 (土) 10:00 ～ 広瀬橋 清掃

4/13 (土) 10:00 ～ 広瀬橋 清掃 花見会 (予定)

報告1 初歩き「六郷堀と沖野館跡」探索 新年会

1/12 (土) 広瀬橋集合 車移動 → 沖野東沖野館跡 → 郡山北目城跡 (終了後新年会)

広瀬川愛宕堰取水・六郷堀下流所在の沖野館跡、郡山堀下流の北目城跡を訪ねて堀跡を確認しました。新年会は沢山の話で盛り上がり楽しい懇親の場となりました。参加(初歩き8名 新年会10名)

報告2 フォーラム「広瀬川の魅力づくりと市民運動」 主催 広瀬川市民会議 仙台市

2/01 (金) 14:30 ～ メディアテーク7階スタジオシアター

第1部 サケをいかした取り組み

山形県鮭川村村長 元木洋介氏

山形県北部にある人口約5千人の村。自然の恵みを活かした農業、温泉などの資源をいかしたまちづくり振興政策を積極推進。特に、鮭川のサケつかみ大会などの話しをされました。

「広瀬川サケプロジェクト」担当菅原氏 市内の小学校、行政庁舎にサケ飼育水槽を貸与。動画を通じて生命の大切さや環境保全の普及に努めている事例を発表しました。(「h p参照」)

第2部 広瀬川の魅力づくり

広瀬川の清流を守る会 代表理事 日下 均氏

水・環境ネット東北 理事 芦野眞一郎氏

広瀬川ボートくらぶ事務局長 鈴木 徹郎氏

それぞれの活動報告と活動を通して広瀬川に対する思いを語りました。最後に質問応答もあり活発な意見交換がありました。終了後自由参加の懇親会に参加。参加(80名)

～会員募集中～

NPO法人広瀬川の清流を守る会

☎022-247-6522 ファックス290-3205

✉ info@hirosegawa.com URL www.hirosegawa.com

〒982-0011 仙台市太白区長町1丁目2-16-201(昭和宅建内)